

授業科目名	失語症Ⅲ	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	春芳 準朗	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	〔授業概要〕 臨床現場における、言語治療の進め方を把握し、言語訓練の訓練技法を習得する。 失語症者に適切かつ正しい言語治療を提供するために、心理的側面にも充分注意を払う。 〔学習目標〕 ・ WABがマニュアルを確認しながら実施できる。 ・ コースとレーブンを実施し、まとめることが出来る。 ・ SLTAが正しい手順で実施できる。 ・ 認知神経心理学モデルについて説明できる。				
授 業 回 数	授 業 内 容				
第 1 回	失語症の評価について				
第 2 回	WAB、コース立方体検査、レーブン色彩マトリックス検査				
第 3 回	演習				
第 4 回	演習				
第 5 回	演習				
第 6 回	SLTA実施についての全般的注意事項				
第 7 回	演習				
第 8 回	認知神経心理学的モデルについて①				
第 9 回	認知神経心理学的モデルについて②				
第 10 回	認知神経心理学的モデルについて③				
第 11 回	SLTA結果報告書作成演習(症例Ⅰ)①				
第 12 回	SLTA結果報告書作成演習(症例Ⅰ)②				
第 13 回	SLTA結果報告書作成演習(症例Ⅰ)③				
第 14 回	SLTA結果報告書作成演習(症例Ⅰ)④				
第 15 回	まとめ				
評価方法	定期試験7割、レポート3割で評価します。				
教 科 書 参考図書	〔教科書〕 藤田郁代・立石雅子編著「失語症学 第3版」(医学書店) 小嶋知幸編著「なるほど失語症の評価と治療」(金原出版株式会社)				
	〔参考図書〕 竹内愛子編集「失語症臨床ガイド」(共同医書出版社)				
履修上の 留 意 点	実習にむけて重要な所ですので、しっかり取り組んでください。				
メッセージ	分からないところはどんどん質問してください。				